

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：2年

留学先大学：タンペレ大学

現在の学期：春学期

時間割：授業曜日が決まっていないため、以下はとある1週間の時間割りです。

| 曜日 | 履修科目名・時間等 |
|-----|--|
| 月 | 13:00~18:00 The Finnish Education and Schooling System (Independent study) |
| 火 | 10:00~12:00, 13:00~16:00 The Finnish Education and Schooling System (Independent study) |
| 水 | |
| 木 | 11:00~15:00 European Union Law |
| 金 | |
| 土・日 | |

履修科目や近況について

【履修科目】

European Union Law は、EU の法律の授業です。この授業は、講義についてのテストと、EU 法についての本のテストの2つのテストを完了させることで、成績がつきます。1月後半から2月にかけて、4日間連続で毎日6時間近い授業時間があり、その次の週に講義についてのテストがありました。

授業は、EU そのものの歴史から始まり、EU の経済政策、環境政策についても学びました。この授業は、講義を聞くだけでなく、ロールプレイがあります。EU で法律を制定する過程を学ぶべく、クラスを Commission(欧州委員会)、Parliament(欧州議会)、Council(欧州理事会)の3つに分け、その中でもそれぞれに役割を割り振ります。私を含めた4人は、Parliament の Socialist & Democrats に割り当てられました。クラスの全

員がそれぞれ役割に合った法律を考えます。3 日間に及ぶ議論や妥協を通じて、最終的に法案を作ることができました。

The Finnish Education and Schooling System は、Independent study といい、自分の好きなペースで課題をこなすことができます。2 月下旬に提出する Final Essay で成績が決まりますが、1 月中旬に Abstract を、2 月中旬に First Draft を書き、提出することで、先生からフィードバックをもらうことができます。

エッセイのテーマは、授業動画や本、論文を参考に自分で好きに決めることができます。私は、教育の地方分権化に興味を持ったため、そのことをテーマにエッセイを書き進めています。教育の授業ですが、教育に関する政策や政治、歴史など幅広いテーマから学ぶことができるため、非常に面白いです。また、エッセイを書くにあたって、多くの論文を読む必要があるため、英語を読むことへの抵抗が徐々に減ってきたように思います。

今学期は、もう一つ授業の登録をしていたのですが、授業スケジュールが変更になり、次のタームにその授業を受けることになりました。

【近況】

週末や放課後は、他の留学生とヘルシンキやトゥルクに行ったり、アイスホッケーを見に行ったりしました。大学のすぐ近くにノキアアリーナという大きな屋内競技場があるため、そこでアイスホッケーを観戦しました。アイスホッケーはタンペレで最も盛んなスポーツだそうです。



ヘルシンキ大聖堂



アイスホッケーの試合(ノキアアリーナにて)

また、1月～2月には、6年に一度の大統領選がありました。大学や公共の図書館などで期日前投票ができたり、大統領候補者が大学に来たり、広場に選挙小屋があったりと、政治を身近に感じることができました。選挙小屋では、無料でコーヒーやお菓子をもらうことができ、コーヒーを飲みながら政治の話ができます。日本でもこのような取り組みが広まってほしいと思いました。



選挙小屋の写真

フィンランドでは、学生は学食を 2.95€で食べることができます。食堂も大学にいくつもあるため、基本的に平日の昼食は大学で取っています。大学の図書館の自習スペースは、24時間空いているため、非常に便利です。